

中央大學校歌

中央大學応援歌

作詞 石川 道雄
作曲 坂本 良隆
編曲 三木 稔

中央大学学友会選定歌詞
作曲 古閑 裕而
編曲 三木 稔

一、草のみどりに風薫る

丘に目映き白門を

慕い集える若人が

真理の道にはげみつ

崇ある歴史を承け伝う

ああ中央 われらが中央

中央の名よ光あれ

一、憧れ高く空ひろく

理想の光あやなせる

あ、中央の若き日に

伝統誇る白門の

闘い挑む旗揚げ

力、力、中央 中央

二、情熱と力の若人が

精鋭こそりふるいたつ

あ、中央の若き日に

雄叫ぶ血汐 紅は

開魂たぎる火と燃える

力、力、中央 中央

三、我らが誇り覇者の歌

燦たり栄光我が生命

あ、中央の若き日に

今ぞ座らん覇者の座に

いざ勝鬨を揚げんかな

力、力、中央 中央

三、いざ起て友よ時は今

新しき世のあさぼらけ

胸に血潮の高鳴りや

湧く歌声も晴れやかに

自由の天地ぞ展げゆく

ああ中央 われらが中央

中央の名よ崇あれ

編集室

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとう
ございます。実社会への門出を迎え、明
日からの社会人生活にちよっぴり不安を
抱きながらも、楽しみと期待で胸を膨ら
ませていることでしょうか。

振り返ってみて、大学生活はいかがで
したか。『群像―それぞれの春』で紹介
している卒業生は、学業、ゼミはじめ留
学、それにサークルなどの課外活動に邁
進した人たちで、大学生活に大いに満足
した様子がうかがえます。

「青春」を謳歌したのでしよう。みな
さん、いずれも輝いて見えます。
ところで「青春」を辞書で引くと、「若
い時代」とあります。これを額面通り受
け取れば、みなさんもそう遠くなく、「青
春」を過ぎ去ってしまうことになりそ
うです。

でも、そんなのでしょうか？誰もが確

実に歳を重ねていくなかで、「青春」が
一時期のものだとしたら、そのあとの人
生路は輝きを失ってしまうのでしょうか。
決してそんなことはないはずで

私の好きな詩に、「青春とは人生のあ
る期間ではなく心の持ち方をいう」で
はじまるサムエル・ウルマンの『青春』
(佐山宗久訳)という詩があります。み
なさんに、その詩の一節を紹介したいと
思います。

(前略)

青春とは臆病さを退ける勇氣
やすきにつく氣持ちを振り捨てる冒
険心を意味する。
ときには、20歳の青年よりも60歳の
人に青春がある。
年を重ねただけで人は老いない。
理想を失うときはじめて老いる。

(後略)
みなさんが輝き続けることを祈念して
います。

(編集長 伊藤博)

学生記者が取材・編集する大学広報誌

Hakumon

ちゅうおう

2011

早春号

2011年(平成23年)3月24日発行 No.220

発行 中央大学広報室

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

『Hakumonちゅうおう』編集室

☎042-674-2048

印刷

泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141